

クラス番号	334	担当教員名	保正友子
テーマ	病院と地域で働く医療ソーシャルワーカーの役割・機能を考える		
著書・論文	著書・論文：『保健医療ソーシャルワーク～アドバンスト実践のために』中央法規、『医療ソーシャルワーカーの成長への道のり～実践能力変容過程に関する質的研究』相川書房、『医療ソーシャルワーカーのストレスマネジメント』中央法規他。		
研究課題等	研究課題：医療ソーシャルワーカーの成長過程、北欧の医療ソーシャルワーク、社会福祉教育		

## ゼミナール概要

キーワード：病院、地域、医療ソーシャルワーカー、理論と実践の結合

### <目的、内容、方法等>

現在、全国で0歳から100歳までが住み慣れた地域で安心して暮らし、医療が受けられる地域包括ケアが推進されています。そのため医療ソーシャルワーカー(以下、MSW)には、子どもから高齢者までの多様な対象者に対して、総合的に対応できる力が求められています。また、地域包括ケアでは多職種連携が重視されており、MSWにはその「コーディネーター」としての役割も期待されています。このように、MSWの働く場は病院だけでなく、地域にも広がってきています。そのため、病院と地域で働くMSWの役割と機能を理解し、適切な連携が求められます。

私のゼミでは、このようなMSWの役割と機能について、3年次に文献検討・事例検討等の理論的学習に加えて、MSWへのインタビュー(リアルもしくはZoomによる実施)により、MSWの仕事の現実に触れて学ぶことを重視します。また可能になった時に、デンマークでのMSW業務の視察に行きたいと思います(希望者のみ)。

このような理論と実践の結合をはかるなかで、ゼミ生がソーシャルワーカーに不可欠な価値(規範)・知識・技術の基盤を身につけ、時代が求める利用者に寄り添いながら専門性もしっかり持った職業人として育つことを目指します。なお、4年次の就職活動、受験勉強、卒論執筆などを経て社会人として巣立っていくためにも、ゼミ生同士が相互にサポートしあえるゼミをつくりたいと思っています。

### <授業計画>

3年次前期・後期：文献検討・事例検討を行うなかで、MSWの役割・機能を学びます。そして、各グループに分かれて病院と地域で働くMSWへのインタビューを行ってまとめます。また、卒論のテーマを考えていきます。さらに、医療専修で行う合同企画の準備を行います。

4年次前期：各自の進路に向けた準備を行う傍ら、卒論執筆を行い各自のテーマを深めます。

4年次後期：卒論はできるだけ早く仕上げ、その後は、社会福祉士国家試験の受験勉強に専念し、全員合格を目指します。

なお3年次のインタビューは、リアルもしくはZoomで行います。今のところ想定しているのは、地域医療福祉連携部門が先進的な取り組みを行っている大規模病院、地域包括ケア病棟を有する回復期リハビリテーション病院、子ども病院、先進的な地域医療を行っている診療所、医師会で働くMSWにご協力していただくことを考えています。なお、コロナが落ち着いたときには、関東地方の福祉・医療機関やハンセン病資料館の見学合宿も考えたいと思います。

2023年度の日本MSW協会全国大会の参加を奨励します。それ以外のイベント(学生向けソーシャルワーク研修等)についてはその都度知らせます。希望者には、就職活動時のエントリーシートの書き方や小論文、面接のトレーニングも行います。なお、毎回の1分間スピーチ、教員との面接、ゼミ生企画も行います。(たまに仮装します)。

## 担当教員からのメッセージ



これまで、総合病院のMSW、老人保健施設のソーシャルワーカー、非常勤でホームレス支援の相談員を行った後に、大学でソーシャルワーカー養成に携わってきました。様々な活動とそこで学んだことの振り返りを大切にしたいと思っています。今、関心があることについて、徹底的に掘り下げてみてください。そのなかから出てくるものが必ずあるはずです。

ゼミでは、各自の目指す進路に向けて徹底的なサポートを行います。その結果、2021年度卒業生は希望の進路に進み、15人全員から授業評価満足度「5」をいただきました。MSWを目指していてもいなくても、自分らしく生きたい人、真剣に自分の将来を考えたい人は大歓迎です!多様な人たちが互いの個性を尊重し、居心地が良い空間です。